

身の回りにある科学

夏の晴れた日に車の中がとても暑くなる理由

夏の晴れた日に車を外に停めておくと、車内の温度は驚くほど高くなります。これには、いくつかの理由があります。まず、太陽の光が関係しています。太陽の光は、そのほとんどが可視光線という種類の光です。この可視光線は、車の窓ガラスを通り抜けて、車内に入ります。その光が座席やダッシュボードなどに当たると、熱に変わります。物が熱くなると、赤外線という光を出しますが、ガラスはこの赤外線を通しにくいという性質を持っています。そのため、車内で発生した熱は外に出ることができず、どんどん溜まっていきます。これは「温室効果」と呼ばれる現象で、植物を育てるための温室と同じ仕組みです。次に、車という空間の特徴も原因の一つです。車は密閉された狭い空間なので、空気の入れ替えがほとんど行われません。外の風が入らないため、熱くなった空気がそのまま車内にとどまり続けます。さらに、車体そのものが太陽の光を吸収し、金属部分が熱くなることも、車内の温度上昇に影響を与えます。このような理由から、夏の晴れた日には、短時間でも車内の温度が非常に高くなります。特に子供やペットを車内に残すことは大変危険なので、絶対に避ける必要があります。